

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：固化培地を利用したトルコギキョウの育苗技術			
〔要約〕トルコギキョウを育苗する場合、用土に固化培地を使用することで、育苗期間が約40日短縮でき、定植後に発生する株のロゼット化が抑えられる。また、固化培地で約20日間育成した苗は周年定植することが可能である。			
キーワード トルコギキョウ、育苗、固化培地			
実施機関名	主 査 農業総合研究センター・暖地園芸研究所・花き研究室 協力機関 日本ジフィーポット・プロダクツ（株）		
実施期間	2005年度～2007年度		

〔目的及び背景〕

トルコギキョウの需要増に伴い、本県の栽培面積は拡大している。しかし、育苗期間が60日間と長い管理上の負担が大きい。さらに、定植時における根の損傷によりロゼット株が発生しやすく、生産性を低下させている。

そこで、培地が崩れない固化培地を育苗用土として利用し、育苗期間の短縮化、ロゼット株の発生抑制の可能性を明らかにする。

〔成果内容〕

- 1 固化培地（商品名：プラントプラグ）を使用して20日及び30日間育成した苗は、慣行培地で60日間育成した苗と同等に活着する（表1）
- 2 固化培地で20日間育成した苗は、慣行培地で60日育成した苗より定植後のロゼット株発生率が低い（表1）。
- 3 固化培地で21日間育成した苗は、定植時期により生育は異なるが（図1）、ほぼ毎月安定して活着し、ロゼット化は抑えられる（データ省略）。
- 4 育苗用土として固化培地を使用することで、育苗期間が短縮でき、定植後のロゼット化が抑えられ、周年定植が可能となる。

〔留意事項〕

- 1 固化培地は乾燥しやすいため、播種に先だって水に浸漬して十分に吸水させる。
- 2 播種したトレイは10の暗黒条件下に5週間遭わせる。
- 3 育苗温度は20～25が適しており、夏季に育苗する場合は冷房育苗（設定温度：20～25）施設を使用する。

〔普及対象地域〕 県下全域

〔行政上の措置〕

〔普及状況〕

[成果の概要]

表1 異なる育苗期間及び育苗用土による定植後の活着率及びロゼット株発生率

品種	育苗期間	活着率(%)		ロゼット株発生率(%)	
		育苗用土		育苗用土	
		固化培地	慣行	固化培地	慣行
一番星	20日	93.1	-	1.6	-
	30日	100.0	74.4	0.0	10.3
	40日	98.4	100.0	2.8	43.8
	60日	-	98.8	-	8.1
キングオブスノー	20日	97.2	-	16.9	-
	30日	100.0	97.5	40.6	70.6
	40日	98.4	98.8	63.1	73.1
	60日	-	100.0	-	90.9
ピッコローサスノー	20日	96.3	-	15.3	-
	30日	100.0	86.6	13.1	30.3
	40日	100.0	95.9	23.1	72.5
	60日	-	100.0	-	38.1

- 注1) 育苗用土：固化培地区はプラントプラグ、慣行区はメトロミックス360を使用した
 2) 20、30、40日間育苗区は406穴、60日間育苗区は288穴セルトレイを使用した
 3) 平成17年8月18日に播種し、昼温23、夜温18 条件下で育苗した
 4) 定植は平成17年9月7日(20日間育苗区)、17日(30日間育苗区)、27日(40日間育苗区)、10月17日(60日間育苗区)に実施した

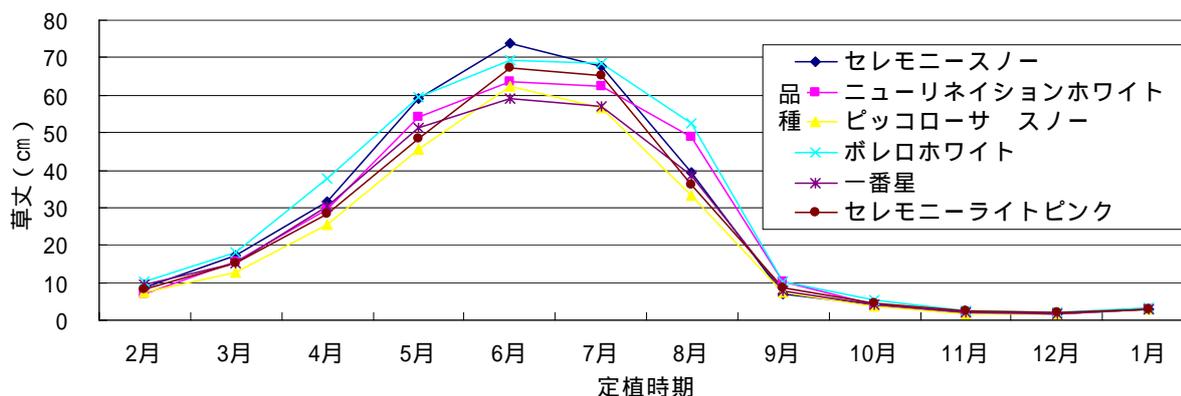


図1 固化培地苗の定植時期と草丈(定植後70日目調査)

- 注1) 固化培地へ播種した後、10の暗黒条件下で5週間置き、低温処理を行った
 2) 昼温23、夜温18 条件下で21日間育苗した
 3) 平成19年2月13日から平成20年1月8日まで、毎月定植した

[発表及び関連文献]

平成20年度試験研究成果発表会(花植木部門)

[その他]

平成17年度「新たに開発された育苗資材(成型培土「プラントプラグ」)によるトルコギキョウの育苗方法に関する委託試験事業」